



SUITA ESAKA ROTARY CLUB

CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日/1990.2.27
事務所/〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp例会場/新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30
会長:西山俊明 幹事:新井性哲 会報委員長:延秀恵

2013年8月24日 第1102回例会(第1101号)

本日の例会

今週の歌 「我等の生業」

「夏の家族会」

前回〔8月20日〕例会記録

来客

関謙二君(大阪大手前)
柳勇多君(関西大学RAC)
森井永実君()
水谷仁美君()
小林湧太郎君()
河野太祐君()

会長の時間 西山会長

先月7月23日、井上義信ガバナー補佐をお迎えし、例会終了後40分余り、新井幹事を含め3人で対談させていただきました。その対談の中で印象に残った、毎週の例会出席の意味についての話です。ロータリアンである以上、出席は義務であるとか、仲間同士の交流を保つためであるとか言われています。しかし、本当に自覚すべきことは、次のようなことではないでしょうか。まず、RCの例会に出席したとき、その人の肩書を外して、行動せざるを得ません。会

出席報告 赤尾委員

【8月20日】
在籍会員 34名(内出席規定適用免除者 10名)
出席会員 30名(内出席規定適用免除者 7名)
ホームクラブ出席率 96.77%

7月16日のMUを含む出席率 96.77%

次回例会のお知らせ(9月3日)

卓話 「吹田市の高齢者

福祉サービスについて」

吹田市役所高齢支援課

平井倫子様

辻田桂子様

社にいれば、大まかな方針は決めますが、実行は部下の業務で、結果しか知らないが増えます。しかし、RCの例会では、担当をした委員会等の煩わしい業務、他の会員との連絡も自らやらなければなりません。そこに、人との交流から生まれる気遣いが甦ってきます。この言わば失っていた気遣いが、例会で自らが諸事を実践していくことで、甦ってくるというものです。友情、近隣との付き合い、地域との交流という中で甦ってくるのです。人は人の中で人になっていくという言葉があります。RCの例会はそのような意義があるといえます。

例会へ出席するためには、健康であることが第一です。また、脳の働きを若く保つことも必要です。そのためには自分の職業以外のことにも関心を持ち、様々なことに想像力を働かせることが必要だと思います。RCには様々な職業を持った仲間がいます。会員相互に懇親を深めて交友すれば、それだけで自然と思考が広くなり、他人の意見も聞き入れ、狭い考えを打ち破るとことになるのではないのでしょうか。これらを会得するのも例会への出席ということで可能になります。

幹事報告 新井幹事

来週27日の例会はありません。

関西大学RAC例会出席担当
8月27日(火) 高石RAC合同例会
渡辺、金馬、西本、成松各会員

ニコニコ箱

水谷 会員 日曜日に大峰山に行って来ました。庄瀬様ありがとうございます。皆様行きませんか。
庄瀬 会員 今年も無事に大峰山修行を終えました。
八橋 会員 良い事がありました。感謝です。
吉野 会員 先日は父の事で皆様には大変お世話になり有難うございました。

ローターアクト委員会(8月6日) 成松 委員長

7月22日に関西大学RACのメンバーと京都平安RCに出席いたしました。国内22クラブからメーキャップがあり、6クラブとバナー交換をしてまいりました。

少年少女ニコニコキャンプ

今年入会したRACメンバ12名のうち11名と4回生1名の計12名が参加しました。

RACの担当表をBOXに配付いたしました。

8月は2回とも移動例会となります。19日はグリーンハイクを関大周辺で実施、27日は高石RACとの合同例会を開催いたします。

9月7日第一例会はPRの通りRACの企画するボーリング大会を開催いたしますので、参加のほどよろしくお願ひいたします。それ以降は担当制となります。

RACへのニコニコは、RAC例会だけでなく、8月20日及び9月3日の例会時でも受け付けますので、成松RAC委員長までお申し出ください。

会員増強特別委員会(8月6日) 渡辺 委員長

本日の理事会で、木元会員、金馬会員、北村(雅)会員、成松会員、西本会員、田中(弘)会員、山崎会員が今年度の委員に選任されました。

クラブフォーラム(8月6日)

渡辺 会員増強特別委員長

2013.8.6現在の会員数34名、平均年齢66.2歳、出席免除者10名となっています。

3年後、5年後を考えて、会員増強について各テーブル毎に話し合っていました。

卓 話

「2013ロータリー世界平和フォーラム広島参加報告」
(8月20日・第1101回)

柳 勇 多 君

先日は、卓話のお時間を頂きありがとうございます。5月に参りました世界平和フォーラムをもう一

度振り返り、ローターアクトについて再び考える良い機会となりました。また、ロータリアンの皆様の前で緊張感を持ちながら報告を行えたことも、良い経験となりました。ただ、段取りが悪かったことは反省しており次に活かしたいと思っています。11月に参ります海外研修の抱負を申し上げましたが、皆様の前で口にする事で身が引き締まりました。受け身ならず、自分から行動をして参りたいと考えています。

森井 永実 さん

世界平和フォーラムに参加して特に印象に残っている事が2つあります。1つ目は田中作治RI前会長が「平和のありがたさを知るには、平和がない状態を想像してみると分かる」と仰っていたことです。それからは自分の身の回りのものに対してもそういった想像を働かせるようになりました。今の私にとっての当たり前は、先人の方々が作って下さったものであることに感謝すると共に、将来のために沢山の当たり前を守っていこうと思いました。2つ目は外国の方々の積極性です。日本人が遠慮がちなのに対し、外国の方々は積極的に発言していました。同じ時間を過ごしていたけれど、彼らの方が得るものが何倍も大きかったらうな、と思いました。これからは私自身もっと積極的に様々な活動に取り組んで参りたいと思います。

水谷 仁美 さん

私たちは、世界平和フォーラムに出席し、「平和の定義はそれぞれ異なっている」とこと、「平和は私たちのもともと始まる(Peace begins with us)」ということを学びました。日本では、憲法で平和主義を謳い、戦争のない世界の大切さを訴えています。しかし、世界中には戦争だけではなく、貧困などの問題に苦しむ人もおり、人によって求める「幸せ」や平和な状況が違うことを知りました。そして、ポールハリスランチョンミーティングでは、日本における東日本大震災からの復興について現地RCの方のお話を聞き、ただ街が元通りになるだけではなく、その地に住む人が求める支援が必要だと実感しました。そのような中で、平和を作っていくために必要なことは、たとえどんなに小さなことであっても、自らが行動を起こすことです。お互いの価値観の違いを認め合って、個人同士の絆を深めることが広がれば、大きなことが実現できます。未来の担い手として、身近なことから平和について考え、行動していきたいと思います。